



# 活力ある地域づくりの推進

施策で目指す姿

- 地域住民や関係者が連携し、地域の維持・活性化に努めるとともに、地域への愛着を深めることで、暮らしやすく、魅力ある地域社会づくりを目指します。
- 地域や関係機関と連携した取組を推進し、地域住民がいつまでも暮らしていける活力ある中山間地域づくりを目指します。
- 関係人口<sup>※</sup>の拡大や移住定住の促進等を通じ、個性豊かで活力のある地域社会の形成を目指します。

## 施策の現状と課題

### 市民活動の活性化

**現状** ●人口減少や地域の連帯感の希薄化、ライフスタイルの多様化などにより、自治会等による地域課題の解決が困難な状況が見受けられます。

**課題** ○自治会加入率の向上と地域活動を担うリーダーや地域活性化に取り組む団体等を育成していく必要があります。  
○社会状況の変化に対応した道義高揚<sup>※</sup>に関する取組の推進が必要です。

### 活力ある中山間地域づくり

**現状** ●中山間地域<sup>※</sup>では少子高齢化により、地域活動を維持するための担い手が不足するとともに、空き家等が増加しています。

**課題** ○活力ある中山間地域づくりを推進するために、地域特性を生かした自主的な活動を支援するほか、空き家等の有効活用を図る必要があります。

### 移住定住への関心の高まり

**現状** ●近年、テレワーク<sup>※</sup>などの新しい生活様式<sup>※</sup>の普及により、都市部を中心に地方移住への関心が高まっており、空き家の利活用も増加しています。

**課題** ○移住に関するニーズの把握や情報の発信とともに、相談体制の充実や空き家の有効活用を推進する必要があります。

## 施策で目指す姿を実現するための基本事業

### 1



### 市民活動の支援と協働の推進

- 自治会加入率の向上を図るための調査・研究を進めるとともに、地区自治公民館・自治会・市民団体等との連携・協働体制の強化を図り、市民参画によるまちづくりを推進します。
- 「道義高揚・豊かな心推進宣言都市」として、「道義高揚・豊かな心推進大会」など道義高揚に関するイベント内容の充実や市民総参加による「ふれあいボランティア」等の推進により、地域社会を形成する市民意識の醸成を図ります。



### 2



### 中山間地域の活動支援

- 地域の自主的な活動を支援するために、大学生を派遣する「マンパワー支援事業<sup>※</sup>」の実施や地域おこし協力隊<sup>※</sup>員の配置、市職員によるサポートなどの取組を推進します。
- 中山間地域の既存の公共施設や空き家・空き店舗などを有効活用し、地域特性を生かしたまちづくりや地域の活性化に取り組めます。



### 3



### 移住定住の促進

- 三大都市圏<sup>※</sup>やオンライン<sup>※</sup>でのイベント等を通じて、地方移住に関心が高い人たちへ本市の魅力を広くPRすることで、関係人口や移住者の増加につなげます。
- 移住相談体制の充実や官民連携によるサポート体制づくり、空き家バンク制度<sup>※</sup>を活用した空き家の有効活用を図ります。



# 「みんなができること」

everyone can do it!



## 市民一人一人で

- 自治会に加入し、自治会活動や地域のイベントに参加しましょう。
- 地域を知り、地域の文化・歴史・資源を保全・活用しましょう。
- 移住者とのコミュニケーションを深めましょう。
- 空き家バンク制度\*を活用しましょう。



## 地域で

- 住民がまちづくり活動に参加しやすい環境をつくるとともに、地域の課題解決に取り組みましょう。
- 地域を知り、地域の文化・歴史・資源を保全・活用しましょう。
- 移住者とのコミュニケーションを深めましょう。



## 事業者等で

- 地域と協働し、交流の輪を広げましょう。
- 移住者が活躍できる雇用の場を提供しましょう。



中山間地域\*への移住者  
江口 弾 さん



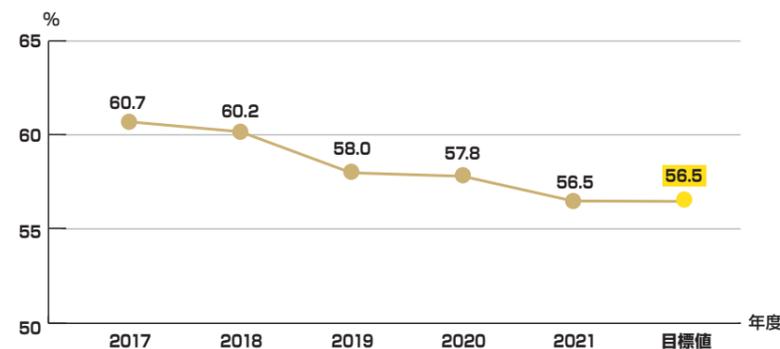
移住の不安  
歓迎で地域のファンに

1年前に妻と霧島永水に移住し、今もリモートワークで東京のIT企業に勤めています。初めは知らない土地で少し不安もありましたが、地域の交流会や学校の運動会に誘われたり、散歩中に笑顔で声を掛けてもらったりするうちに、ここでの暮らしが大好きに。将来は自分の得意なことを生かして地域に恩返しをしていきたいです。

## 施策の進捗状況を測るためのKPI

KPI (重要業績評価指標)	現状値	目標値
まちづくり活動に参加している市民の割合	57.7% (2022) ↑	62.7%
自治会加入率	56.5% (2021) →	56.5%
空き家の利活用件数	16件 (2021) ↑	20件
相談窓口を経た移住者数	198人 (2021) ↑	220人
移住プロモーション*による相談件数	743件 (2021) ↑	800件

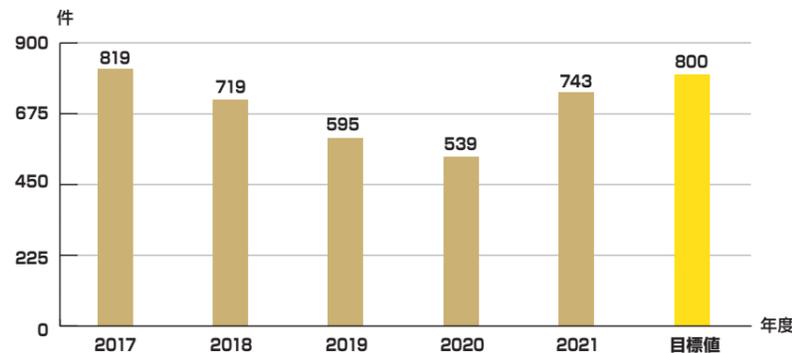
### 自治会加入率



ライフスタイルの多様化や地域との関わりの希薄化などにより、加入率は年々減少。現状値を維持しつつ、向上を図るための取組を進める。

出典:市民活動推進課

### 移住プロモーションによる相談件数



2021年度は増加に転じている。本市のPR活動や官民連携によるサポート体制づくりなど、様々なプロモーション活動を推進することで、目標値800件を目指す。

出典:地域政策課

## Column 「道義高揚\*」と姉妹都市交流の関わり

本市が平成18(2006)年に行った5つの宣言の中に「道義高揚・豊かな心推進宣言」があります。「道義」とは「人の行うべき正しい道」のことです。市民一人一人が道義を重んじた豊かな心を醸成することで、青少年の健全育成など様々な社会活動に積極的に関わることを目指しており、「霧島市道義高揚・豊かな心推進協議会」を中心に「花いっぱい運動」「ふれあいボランティアの日」「あいさつ運動」などの様々な事業を展開しています。

その中の「姉妹都市交流事業」では、岐阜県海津市との交流を行っています。同市は、約270年前に多大な犠牲を払って木曾三川(木曾川・揖斐川・長良川)の宝暦治水を成し遂げた薩摩義士に対する「報恩感謝」を忘れず、旧国分市が推

進した「道義高揚」を縁に、昭和45年に姉妹都市盟約を締結。今も市民・青少年・市職員・商工団体等による交流が続いています。ぜひ皆さんも交流に参加し、私たちの先人が残した業績と道義の精神に触れてみませんか。



薩摩義士を祭る「治水神社」(左)と木曾三川

個別計画	個別計画名	計画期間
連	過疎地域持続的発展計画	2021~2025

施策  
5-2



# 人権尊重・男女共同参画の推進と多文化共生\*

施策で目指す姿

- 一人一人が国籍・年齢・性の違い、障害の有無等、多様性を認め合いながら、互いに人権を尊重し、生き生きと輝き暮らせるまちを目指します。
- 男女の人権が尊重され、多様な生き方の選択や個性・能力が発揮できる、誰もが安心して暮らすことができるまちを目指します。
- 関係団体と連携した交流事業等を通じて、外国人住民を含め、誰もが個性と能力を生かせる多文化共生のまちを目指します。
- 戦争の悲惨さを次世代に語り継いでいくことにより、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めることができるまちを目指します。

## 施策の現状と課題

## 施策で目指す姿を実現するための基本事業

### 人権教育と啓発

**現状** ●子どもや高齢者、障がい者等への虐待や差別、いじめ、DV\*等、様々な人権問題が存在しています。

**課題** ○一人一人の人権が尊重されるまちづくりを進めるため、学校や地域社会、家庭、事業所等、あらゆる場を通じて、これまで以上に人権教育・啓発を推進する必要があります。

### 1 人権教育・啓発の推進

- より多くの市民が人権問題への理解を深められるよう、事業者・教育機関などと連携して、様々な場面で効果的な人権教育・啓発事業を実施し、人権意識の醸成を図ります。
- 人権侵害について相談しやすい環境づくりと相談窓口の周知を図り、被害者の救済やDV・虐待等の早期発見・対応に取り組みます。



### 性別による固定観念の是正

**現状** ●性別による固定的な役割分担意識\*の解消や政策方針決定の場への女性の参画は進みつつあるものの、十分とはいえない状況です。

**課題** ○性別による固定的な役割分担意識の解消に向けた意識啓発やワーク・ライフ・バランス\*の推進、多様な働き方が選択できる環境づくり等への取組が求められています。

### 2 あらゆる分野における男女共同参画の推進

- 性別による固定的な役割分担意識や性差に関する偏見を解消し、男女共同参画に関する積極的な広報・啓発活動を展開します。
- 女性の経営参画や管理職等への登用促進など女性が働きやすい環境の整備に取り組むとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の活躍推進に向けた社会的な気運の醸成を図ります。



### 多文化との交流から共生へ

**現状** ●留学生や技能実習生\*等の外国人住民が年々増加する一方、コロナ禍以降、国際交流活動の機会は減少しています。

**課題** ○外国人住民が地域社会において共生できる体制の充実を図るとともに、国際的な視野を持つグローバル人材\*の育成を継続していく必要があります。

### 3 多文化共生の地域づくり

- 市国際交流協会と連携し、市民が海外の交流都市\*やアジア諸国等の文化に触れ、理解を深める機会を提供します。
- 外国人住民への支援の充実を図るとともに、関係団体等と連携して、市民や企業等が外国人住民と交流し、理解する機会の提供に努めます。



### 戦争記憶の風化と国際治安への懸念

**現状** ●平和や非核は全世界共通の願いでありながら、今もなお地域紛争、国際テロ等が発生している状況です。

**課題** ○非核平和宣言\*都市として、戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さ、戦争の悲惨さを次世代に語り継いでいくことが重要であり、平和意識の醸成を図るために取組を続けていく必要があります。

### 4 平和意識の醸成

- 国分基地(国分・溝辺)特攻慰霊祭、市戦没者追悼式等を通じて、次の世代へ途切れることなく、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めるための取組を推進します。



# 「みんなができること」

everyone can do it!



## 市民一人一人で

- 一人一人が人権の大切さを認識しましょう。
- あらゆる暴力を容認しないという意識を持ちましょう。
- 男女共同参画\*の意義を理解し、家庭・地域・職場等への浸透を図りましょう。
- 講座やイベントなどへの参加を通じ、国際交流の輪を広げましょう。
- 平和の大切さや命の尊さを次の世代に伝えましょう。



## 事業者で

- あらゆるハラスメントの防止に取り組みましょう。
- 働きやすい職場づくりに努め、ワーク・ライフ・バランス\*を推進しましょう。
- 外国人住民の生活様式や文化の違い等を認めた上で、住みやすく、働きやすい環境づくりに努めましょう。



## 事業所・団体・教育機関で

- 特攻基地の跡や戦争遺跡があることを知り、触れる機会をつくりましょう。



男女共同参画に積極的な企業  
(株九州タブチ)  
まつもと けいこ  
松元 桂子 さん



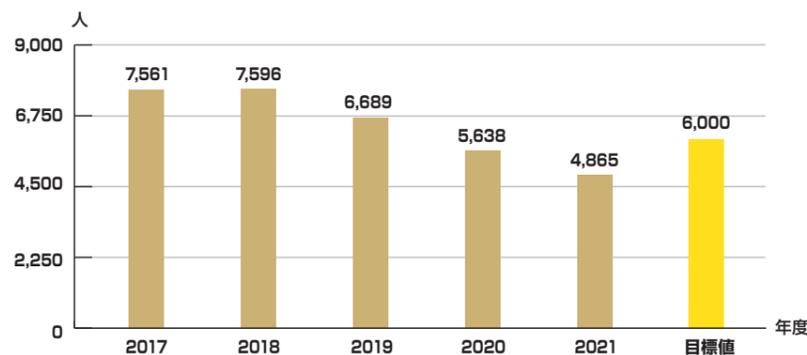
社内アンケートで、女性社員の職場での自己肯定感\*が低いことが判明。その対策に、社員同士で感謝を伝え合う「サンクスカード」活動を続けた結果、男女の考え方の違いが理解されたり、女性の自己肯定感も高まったりして、働きやすい職場になりました。相手を思いやる気持ちが増えれば、誰もが働きやすい社会になると思います。

感謝を伝え合い、働きやすい職場に

## 施策の進捗状況を測るためのKPI

KPI (重要業績評価指標)	現状値	目標値
日常的に人権が大事にされていると思う市民の割合	59.3% (2022) ↑	65.0%
市が開催する人権に関わる講演・研修会に参加した市民の延べ人数	4,865人 (2021) ↑	6,000人
家庭・職場で男性優遇を感じている市民の割合	40.3% (2022) ↓	35.0%
市の審議会等への女性登用率	29.6% (2021) ↑	40.0%
海外都市との交流事業等に参加した延べ人数	0人 (2021) ↑	100人

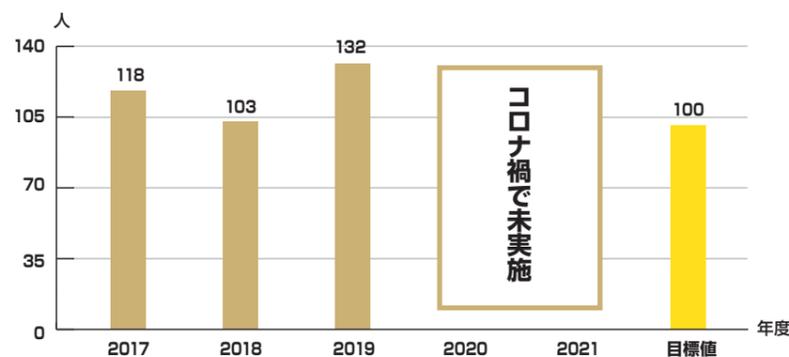
### 市が開催する人権に関わる講演・研修会に参加した市民の延べ人数



2020年度以降はコロナ禍により各種講演・研修会が中止となり、参加者数が落ち込んだ。コロナ禍前の水準回復を目指す。

出典:市民課

### 海外都市との交流事業等に参加した延べ人数



2020年度以降はコロナ禍により海外との交流事業が中止となり、参加者数が0となった。コロナ禍前(2019年)の水準の約75%まで回復を目指す。

出典:市民活動推進課



## 市内の戦争遺跡と市民の関わり

戦闘機に爆弾を積み、敵艦に体当たりしていく壮絶悲壮な肉弾戦「神風特別攻撃隊」。その基地が本市には2カ所ありました。現在の陸上自衛隊国分駐屯地付近にあった第一国分基地と、鹿児島空港の滑走路付近にあった「十三塚原飛行場」ともいわれた第二国分基地です。そこから427人の若者が、敵艦のいる沖縄に向けて飛んでいきました。隊員のほとんどが20歳前後の若者。あの時、永遠に戻れないと知りながら、どのような思いで飛び立って行ったのでしょうか。

市内には、当時を物語る戦争遺跡が現在もなお多く残っています。第一国分基地の発電所跡や、現在も防火用水に使

れている水槽、第二国分基地の司令壕や滑走路跡、基地以外にも大隅横川駅の弾痕などがあります。

戦争遺跡を訪ね、直接見て触れることにより、戦争は二度とあってはならない悲惨なもので、現在の平和がいかに尊いものかを肌で感じてみてはいかがでしょうか。



関連個別計画	個別計画名		計画期間	
	人権教育・啓発基本計画	2008～	第6期障害福祉計画	2021～2023
第3次男女共同参画計画	2023～2027	第2期障がい児福祉計画	2021～2023	
第2期子ども・子育て支援事業計画	2020～2024	すこやか支えあいプラン2021	2021～2023	
第2次障がい者計画	2018～2026			

施策  
5-3



# 市の魅力と価値を高める 多角的施策の展開

施策で目指す姿

- 多様化・複雑化する市民ニーズに対して、効率的かつ効果的なサービスを提供するため、産官学\*等が一体となった課題解決を推進します。
- 行政区域を超えた近隣自治体等との連携を深め、広域的な視点に立って共通課題の解決に取り組みます。また、霧島ジオパークを構成する地域の持続可能な発展を目指し、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた活動を推進します。
- 市民参加型の情報発信の強化など、市民と一体となったまちづくりや魅力の発信に取り組みます。

## 施策の現状と課題

### 市民ニーズや地域課題の多様化

**現状** ●少子高齢化の進行やライフスタイルの変化、デジタル化の進展などにより、市民ニーズや地域課題は多様化・複雑化しており、行政だけで対応するのは困難な状況になっています。

**課題** ○市民ニーズに的確に対応し、地域課題を解決するには、行政も含めた企業、教育機関など多様な主体が、それぞれの強みや役割を生かした活動を展開することが求められています。

### 行政区域を超えた連携の重要性

**現状** ●災害対策や観光振興など、効果や影響が広域に及ぶ分野においては、行政区域を超えた情報共有・連携がより重要となっています。

●霧島ジオパーク\*はユネスコ世界ジオパーク\*の認定を目指す上で、地域間や民間団体との連携による、さらなる広域的な活動が求められています。

**課題** ○単独の自治体では解決できない課題や広域で取り組むことで効率的かつ効果的に対応できる事業について、近隣自治体等との連携を強化する必要があります。

○霧島ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定に向け、課題の把握や問題解決のための取組を推進していく必要があります。

### シティプロモーション\*活動の充実

**現状** ●地域の良さを褒め合い情報発信して磨き上げ、まちの魅力やブランド力を高めるため、「キシマイスター」活動や、情報共有・連携体制を構築するためのシティセールスミーティング\*等に取り組んできました。

**課題** ○本市の知名度向上や市民のまちへの愛着度を高める取組をさらに推進する必要があります。

## 施策で目指す姿を実現するための基本事業

### 1 産官学との連携の推進

- 企業や教育機関等と締結した連携協定を活用し、効果的なサービスを提供するため、積極的な情報交換を行います。
- 多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題に対応していくため、行政だけで解決できない分野での新たな連携に向けて、調査・研究を進めます。



### 2 広域的な連携の推進

- 錦江湾奥会議\*や霧島ジオパーク推進連絡協議会\*等の活動を通じ、様々な自治体と防災・環境・観光などの分野で連携を推進します。
- ユネスコ世界ジオパークの認定に向け、桜島・錦江湾ジオパーク\*と霧島ジオパークを統合したエリアでの活動を進めるとともに、他ジオパーク\*との情報交換や交流を通じて、ジオパーク全体の質の向上に貢献します。



### 3 シティプロモーションの推進

- 市民のまちへの愛着度を高める「キシマイスター」活動を推進するなど、市民と行政が一体となってまちの魅力づくりに取り組みます。
- 本市の知名度向上を図るために、SNS\*等を活用し、市民とともに本市の魅力や様々な取組に関する情報発信を行います。



# 「みんなができること」

everyone can do it!



## 市民一人一人で

- 広域的な取組に関心を持ち、活動に参加しましょう。
- 地域の魅力を知り、SNS\*等を活用して情報を発信しましょう。



## 地域で

- 地域の歴史・文化・産業などの魅力を大切に守り、共に活力ある環霧島地域をつくりましょう。



## 事業所・団体で

- 産官学との連携により、地域の魅力や価値を高める取組にチャレンジしましょう。
- 地域の魅力を知り、積極的に情報を発信しましょう。



国分高校 (SSH\*指定校)  
なかむら すずな  
中村 鈴菜 さん



SSHの一環で霧島ジオパークについて学び、私の住むまちが世界的に貴重な地質や生態系を有することを初めて知って、とても驚きました。全国の学校や大学、企業、外国の人と関わる中で、広い視野や考え方を持つこと、交流の大切さも学びました。私たちの研究が、霧島ジオパークの知名度と市民の関心の向上につながると嬉しいです。

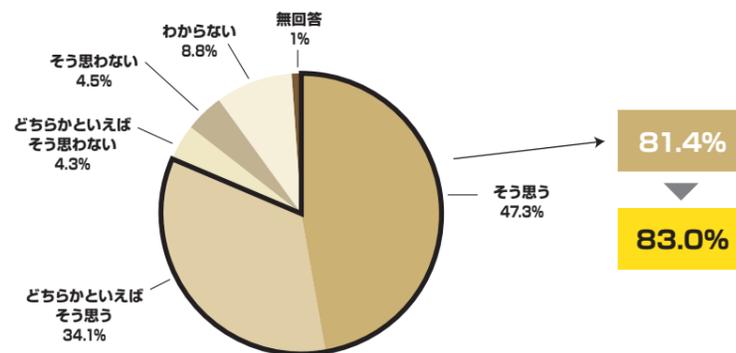
\*スーパーサイエンスハイスクールの略。先進的な理数教育を実践する高校で、国が指定。

ジオパークで広い視野や  
考え方に着く

## 施策の進捗状況を測るためのKPI

KPI (重要業績評価指標)	現状値	目標値
産官学*連携により取り組んだ件数	25件 (2021) ↑	30件
広域連携により実施した事業件数(累計)	22件 (2021) ↑	30件
霧島市が住みやすいと感じる市民の割合	80.3% (2022) ↑	82.0%
霧島市に住み続けたいと感じる市民の割合	81.4% (2022) ↑	83.0%

### 霧島市に住み続けたいと感じる市民の割合



現状値は設問「霧島市に住み続けたいと思うか」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合。現状値から1.6%増加を目指す。

出典:市民意識調査

【参考】  
霧島ジオパーク推進連絡協議会\*と錦江湾奥会議\*の構成市町エリア



黄枠が霧島ジオパーク推進連絡協議会の構成市町エリア、青色枠が錦江湾奥会議の構成市町エリアを示す。

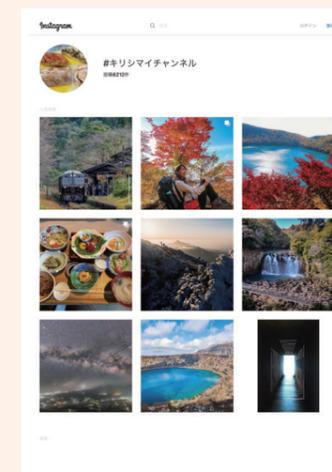
資料:ジオパーク推進課・地域政策課

## Column 「クリシマイスター」で増やそう霧島ファン

誰でも、褒められると気持ちがいいものですね。「クリシマイスター」は、霧島市を愛する人たちの総称です。互いに褒め合うことで、本市への愛着を高めることが狙いです。これまで、本市の誕生日11月7日を「イイなの日」と定めて、「クリシマイスターカード」を使った活動など、クリシマイスターが増えるように取り組んできました。また、現在、SNSを活用した取組として、本市の公式Instagram「クリシマイチャンネル」も展開中です。

市民一人一人が広報マンとして本市の良いところを褒めて発信することで、まちの「ファン」が増え、発信した市民にとっても自分の投稿に「いいね」が付いたり、フォロワーが増えたりすることで喜びにもつながります。そして、この「幸せ」の輪を広げることで、本市の発展に貢献できるのです。

皆さんも「#クリシマイスター」「#クリシマイチャンネル」で発信し、まちの魅力を全世界に広げ、霧島ファンを増やしませんか。



クリシマイスターのホームページはこちら

関連個別計画	個別計画名	計画期間
	第2次霧島ジオパーク基本計画	2022~2029